

平成28年度 第7回 谷浜・桑取区地域協議会

次 第

日時：平成29年2月17日（金）午後7時～

会場：谷浜・桑取地区公民館 2階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的審議事項】

谷浜・桑取区の子育て支援について

【協議事項】

平成29年度地域活動支援事業について

4 その他

・第8回地域協議会の開催について

____月 ____日（ ____ ）午後 ____ 時 ____ 分～ 谷浜・桑取地区公民館

5 閉 会

地域課題に関する意見集約表

谷浜・桑取区の自主的審議事項「子育て支援について」で委員から出された意見と「谷浜・桑取地区町内会長連絡協議会との意見交換会」で出された意見を一覧として集約。

■地域課題の現状認識

区 分		内 容		
子育て支援	人口減少の理由	No. 1	地域内の雰囲気	地域の住民のつながりが少ない。
				地区内で住めない、住みたくない理由がある。
				子育てをしようと思っても、乳母車を押してられない雰囲気が集落内にある。
				地域的な歴史からも物事の考え方が閉鎖的なことが多く見受けられる地域であると思う。そのために、生活観や世代間の大きな価値観の相違などあり、都市部等に比べると他のものに関する過剰な干渉や独断的な批判等が多く見受けられ、若者が自由に住みにくい地域となっていることが多い。それに関連する、嫁姑、小姑問題も未だに根強いと感じられる。
				各世代で暮らすと精神的負担が多くなる・・・町場育ちの人との意識の差が大きい。
				魅力ある地域づくりがなされていない。
		No. 2	町内会	集落維持のための義務仕事が負担。（町内の行事等）
		No. 3	雇用	地域近郊に若者たちが働きたいと思う職場が殆どない。若者たちが働く場づくりがなければ、若者たちは住みづらく、また家庭を築きにくいと思う。
				親世代の仕事がない（近隣、市内に）。
				交代勤務などで自宅から通いづらい。
		No. 4	住居	過疎化の要因としては、昭和40年代まではこの地区の大半の人が農業で生計を立てていたが、昭和60年代以降は生活にかかる諸費用の上昇に農業による収入だけでは追いつかず、若い人たちは転業して土地を離れたことによる。農業離れはまだ終点ではなく途上です。
				市街化調整区域等の関係で、住宅が自由に建てられないところが多い。
	水洗トイレでない（リフォームは困難）。			
No. 5	交通	借地が多く、若者は自分の土地に家を建てたいため、地域外へ出て行く。		
		公共の交通機関が十分に発達していない。 （子どもたちの通学、老人の通院等にかなりの支障をきたしており、保護者などかなりの負担となっている）		
No. 6	その他	少子化の原因は生活環境の変化、人々の価値観の変化等によるもので、ここ数十年で数百年分の生活様式が変化しました。それに対応していくべきです。		
人口減少の影響	No. 7	学校	少子化で学校の児童数が少なく、複式学級や放課後の対応等問題点が多い。 （少人数のために子どもたちの教育に偏りが生じている。人間関係も少人数の中で固定されてしまい、十分な人間関係性を育てる環境が作りづらくなっている。）	
	No. 8	観光	海水浴客は減少傾向であり、地域内でも海水浴に来る人が少ない。	
			桑取川の水量が不足し、漁業や農業に影響を及ぼしている。	
	No. 9	自然・農地	農地が荒れた状態になっている。	

■課題解決に向けての方策等

区分		内 容	
No. 1	地域内の雰囲気	地域内外への交流	上越市全体で子どもたちと地域交流できる場所を作っていく。 世代間交流をもっと深め、構想していく。
		高齢者への支援	地域が元気でなければ、子育て支援もできない。お年寄りが活発に、元気に暮らせるような取組が必要である。（老人会の活動等）
		転入者の歓迎	定年退職者を対象にし、「第2の人生を楽しむ」場所として、移住を促す。
		イメージの回復	市街地、区外への通勤も苦にならない立地であることをPRする必要がある。
No. 2	町内会	負担軽減のための改革	若い世代の意見を聞き、負担を軽減しながら町内行事が継続できる取組を行う。
No. 3	雇用	雇用の安定・促進	雇用の促進と安定化がまず第一である。
No. 4	住居	空き家対策	◎地区内の空家を見つけ、「低所得者層」に住んでもらう。（富裕層は無理） イ、地区に人が住み付けば地区のにぎわい（活気）が出る。 子どもも増える→子育ても必要となる ロ、空家を見つける人は専門職の不動産会社社員にお願いすれば出来そうだが、利益団体なので、利益の出そうな所しか動かない。 ハ、地区の住民が行くと「個人のプライバシー」が守れるか問題あり。空家を見つけるには「個人のプライバシー」が守れる人、又守らないといけない人が必要です。 ニ、空家が見つければ、インターネット等でPRできる。 （特別な人を除く対策は必要） ◎家を持ちたい、探している人へ空き家の情報を提供し、地域外への人口流出を防ぐ。
No. 5	交通	—	意見なし
No. 6	その他	—	意見なし
No. 7	学校	学校区の見直し	上越市全体で学区を超えて児童が入学できるようになればと思う。
No. 8	観光	観光のPR	まずは地域住民から海水浴に来てもらえるようPRし、県内外へ発信していく。
			人口が集中している都会にいる子どもたちに、上越地域の里山の美しいことをもっとPRしていく。
No. 9	自然・農地	自然や農地の現状確認と方策の検討	地域協議会、町内会長連絡協議会で連携を取り、桑取川の水量が減っている理由や現地確認を行い、今後の方策を検討する。
No. 10	全体	各団体との連携・協議	各協議会（青少年健全育成会、谷浜・桑取地域振興協議会、谷浜町内会長協議会、南部協和会等）が数多くあるがもっと一般住民と話し合いが大事だと思う。
			地域内で元気に暮らしている人たちの姿・期待されている事柄などを知ることや、どのような応援が必要かなどに目を向けることが大切である。 例えば、農作業を請け負っている組織、農作物をつくり、販売している団体、蕎麦を栽培している団体、老人クラブで楽しんでいる人たち、公民館を中心にカルチャーで楽しんでいる人たち、NPO山里ファン倶楽部、株式会社東京農大、くわどり湯ったり村の存在、地域の食生活推進員、運動普及推進員などの活動、青少年健全育成会などの団体、町内会行事等で楽しく交流している集落、少人数学級でのメリット、いずれは実家に住みたいと思っている人たち、この地域を選んで住んでいる人たち など。
			検討方法 子育てとは、人の人生そのものです。子育てに関係する色々な事項については、政治・経済・人の情（心）が関係してきます。我々、委員で解決出来るレベルを超えている様に思うが、しかし、何もしない、何も出来ないでは、すまされない所もある。出来る所、出来そうな所からやってみようと思う。
			各委員、出来そうな「具体案」を出し合い、それを土台に話し合う必要がある。
			活性化させるものは何かをもっと検討するべきであると思う。

谷浜・桑取区に係る 平成29年度地域活動支援事業に係る採点について

1 採択方針

谷浜・桑取区の「優先採択方針」	左記方針との適合性
<p>谷浜・桑取区住民の生活環境の向上を期待する事業のほか、少子化・高齢化に対応する区の活性化につながる事業、谷浜・桑取区の観光資源を活かす事業、地域住民が自主的、主体的に取り組む事業のうち、次に掲げる事業を優先的に採択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域振興事業 (例) 谷浜・桑取区(まち)の活性化、既存組織との連携、海岸と温泉を活かした事業、耕作放棄地復元モデル事業、観光広報・案内事業、中山間地における再開発、自然保護(河川、農業、森林、海岸)等 ○生活環境の向上 (例) 谷浜公園整備事業、公共交通機関の維持確保・利用促進事業等 ○安心安全な地域づくり (例) 防犯マップの作成・配布事業、広域自主防災訓練実施事業、高齢者の見守り、子どもたちの安全確保、海岸整備事業等 ○少子・高齢化に対応する事業 (例) 世代交流事業、高齢者健康講座、子育て支援事業等 ○教育文化 (例) 青少年健全育成の推進、伝統文化・技術の継承、地元ボランティアへの支援、歴史遺産や観光資源を活用した事業等 ○その他 上記に属さないが、谷浜・桑取区の活性化につながる事業 	<input type="checkbox"/> 適合する <input type="checkbox"/> 適合しない

2 共通審査基準

←下記の審査項目と視点により審査を行います

審査項目	審査基準	配点	委員採点欄
①公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業の成果が広く地域に還元されるものか ・全市的な方向性と合致しているか ・提案者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか 	5点	3
②必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情や住民要望に対応したものか ・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効な取組であるか ・緊急性の高い提案事業であるか ・ほかの方法で代替できないものであるか 	5点	3
③実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・目標(達成すべきこと)や事業内容が明確なものか ・関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか ・資金調達の規模や時期に無理はないか 	5点	3
④参加性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業の実施に当たり、多くの住民等の参加が期待できるものか 	5点	3
⑤発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取組の視点はあるか ・提案団体は、信頼性、将来性、継続性があるか ・事業の終了後における継続性や自立性、発展性は期待できるか 	5点	3
合計		25点	15

合計点が15点以上となったものを「採択」と判断します。
(過半数の委員が「採択」としたものが採択事業となる)

平成29年度 谷浜・桑取区地域活動支援事業 採点票(案)

提案No.	事業名	谷浜・桑取区 優先採択 方針 との整合	共通審査基準					合計	その他特記事項
			①公益性	②必要性	③実現性	④参加性	⑤発展性		
例	谷浜・桑取地域振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合	3	3	3	3	3	15	合計点が15点以上となったものを「採択」とする。(過半数の委員が「採択」としたものが採択事業となる)
1		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							
2		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							
3		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							
4		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							
5		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							
6		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							
7		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							
8		<input type="checkbox"/> 適合 <input type="checkbox"/> 不適合							

(採点は5・4・3・2・1の整数で行ってください)